



秋とイベント

「里の秋」「もみじ」「赤とんぼ」「小さい秋みつけた」……。童謡に多く取り上げられる秋は、季節の移り変わりやふるさとを、もつとも日本人に感じさせてくれる季節ではないでしょうか。そんな秋を私たちは、スポーツ、文化、芸術、食の秋とも捉えているところであり、一人ひとりの秋の楽しみ方もさまざまです。スポーツや行楽に出掛けるなど活動的に過ごすのか、または文化・芸術鑑賞、読書などをして静かに秋を満喫するのか……。秋は足早に通り過ぎる季節の中で、多くの喜びや感動を与えくれ、人々の心と心のつながりを作るには一番良い季節だと思います。

そうした中、市内でも数え切れないほどのイベントが開催されました。スポーツでは、千葉国体、小中学校の体育祭、体育協会主催の市民大会や、向太陽杯パークゴルフ大会、東総運動場での高校サッカーや駅伝大会、そして今年初めて開催した市民体育祭。市民体育祭は市民の一体感の醸成に15小学校区が一堂に集まり、参加してくれた5,000

人の皆さんには、同じ行事に向き合うことの必要性を、感じていただけたのではないかと思います。反省会も、すばらしい意見交換ができ、さらなる飛躍のためのコンセンサスの場として、重要であつたと思つています。あらためて、大会開催に向けご努力いただいた実行委員会や地区代表の皆さんに、敬意を表するところであります。文化事業でもたくさんの方のイベントを実施しました。あさひのまつり、小中学校の音楽発表会、文化祭や産業まつり、青少年意見発表大会、文化講演会、モスクワ少年合唱団旭市少年少女合唱団ジョイントコンサート。特にモスクワ少年合唱団のコンサートでは、美しいハーモニイが聞く人の心を魅了し、小さな秋の夕べのひとつきを、大きな感動で包んでくれました。主催してくださった関係者には、感謝を申し上げるところであります。「子どもたちの思いや芸術は、確かに国境を越えつながっている」と実感しました。

この秋のイベントもまた、私たちに大切なことを教えてくれました。